

# 障スポで何ができる？

成和中で  
公開授業  
社説読み比べ、発表



福井しあわせ元気大会で、できることを書き出す  
生徒。28日、福井市成和中

リンピックを受け、それぞれ「東京目指し競技力向上を」「メダルより大切なこと」の見出しが付いていて、どちらの考えを支持するか発表した。生徒からは「障害者が健常者と同じようにスポーツができる社会をつくるのが大事」「人はそれぞれ違いがあることを理解するべきだ」などの意見が挙がり、どちらの社説も「障害者と健常者の壁をなくすことが大事」と訴えていることを学んだ。

壁をなくすための一歩として、来年の障スポでできることや、やるべきことを班学習で話し合った。ボランティアや応援のボランティアや応援も住みやすい社会になる」と感じた。障スポのボランティアにも参加してみたい」と障害者や共生社会に関心を高めた様子だった。

(石井敬夫)

NIE(教育に新聞を)実践指定校の福井市成和  
中で28日、公開授業が行  
われた。2年2組の道徳  
では、パラリンピックを  
テーマにした2紙の社説  
を読み比べ、来年の福井  
しあわせ元気大会(全国  
障害者スポーツ大会「障  
スポ)に向け、できるこ  
とを考えた。

二つの社説は、昨年の  
リオデジャネイロ・パラ